

七夕祭りのご報告



(正面玄関側:有明移転 20 年を記念した七夕祭り)



(新棟側:笹に結ばれた沢山の短冊)

6月30日～7月11日まで1階のホスピタルストリートで『七夕祭り』を開催いたしました。今年はがん研が有明に移転して20年、これを記念してこれまで沢山の患者さんやご家族が来院され、多くの方にご支援いただいたことへの感謝の気持ちと今後への期待を込めまして、職員のボランティアメンバーがハートと星を飾った短冊のデザインを考案しました。また、七夕コーナーを温かみのある飾付にできればと、職員に手作りの笹飾りの提供を募集したところ、150点を超える笹飾りが集まり、華やかな七夕コーナーが完成しました！

一枚ずつ心を込めて手作りした短冊には、皆さまからの想いが沢山詰まった願いごとが書かれ、短冊を結ぶスペースがいっぱいになるほど、888枚もの短冊が結ばれました。理事長はじめ、病院や研究所の幹部職員15名も大きな短冊にメッセージを書いて、合計903枚もの短冊が集まりました！

短冊は“大安”に合わせまして、がん研の氏神さまでもあります、門前仲町の富岡八幡宮でご祈祷をしていただきました。コロナ禍以降、初めてボランティアの方と一緒に参拝することが叶いましたが、ご本殿にあがって玉串を捧げ、「病氣平癒」と「身体健康」をしっかりと祈りました。また、短冊とお焚き上げをしていただきました。

七夕に思いを馳せることができ、少しでも皆さまのお力になれることができたなら幸いです。また来年の七夕で皆さまにお目にかかれることを願って…☆彡



(お預かりした 903 枚の短冊)



(授与された御神札)